



三上小学校学校運営協議会

10月2日木曜日

三上小学校第3回学校運営協議会が開催されました。

市木会長の「前回の学校運営協議会で話したように、「みかみっこ未来団」の活動も多くの方の協力をいただいて大変順調。校外学習や天保義民祭、学校環境整備への支援も広がりを見せていて大変うれしい。」という挨拶から始まりました。

この日は、前期の学校評価について井関校長先生からの報告を聞きました。

○第1チャレンジ（やさしい子）→郷土愛の育成について、児童の自己評価が依然として高い。仲間づくりの取組を継続してすすめ、目標値90%達成をめざす。

○第2チャレンジ（かしこい子）→児童の評価が高い。9割の児童が「学校の勉強は分かりやすい」と答えていた。今後は、評価の低かった1割の子どもたちに焦点を当てて授業改善の取組をすすめていきたい。

○第3チャレンジ（たくましい子）→児童の「すすんであいさつをしていますか」の自己評価が高かった。もっと自分からすすんであいさつしてほしいという気持ちはあるが、あいさつについて前向きに捉えてくれていることはよかった。

委員からは、「あいさつをしてくれる子が増えてきた。子どもたちからあいさつをしてくれるとうれしい。」「あいさつから一日が始まるということを強制感のない形で大人も一緒になって三上学区全体に広げていきたい。」「あいさつなどを通して『知っている大人』になると、子どもが困ったとき相談に来ることもあった。」などなど、あいさつについていろいろな話題で盛り上がりました。

この日は会議の後に児童向けと保護者向けの「スマホ教室」が開催されました。知っているアプリが出てくると盛り上がっていた子どもたち。しかし、そのアプリの危険性を知ると子どもたちも保護者も一様に静まり返っていました。

ゲームに依存することの危険性、スマホやタブレットの安全な使い方、自分のことばで気持ちをちゃんと伝える練習の必要性などを学ぶことができました。

